

花巻市博物館  
博学連携だより



ふくろう

第262号

令和7年10月

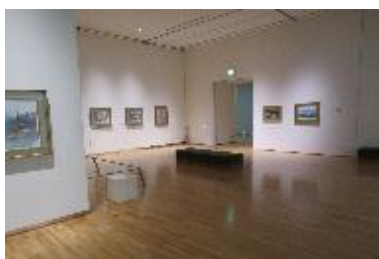
好評開催中

花巻市博物館 **特別展**

佐川美術館コレクション

# 平山郁夫展

先月から開催している平山郁夫展は、作品の彩色表現に魅了される方も多く、好評を博しています。日本画の巨匠である平山氏の作品を、多くの方にご堪能いただきたいと思います。残り約一か月の会期内（11/3まで）に、ぜひご鑑賞ください。



57点に及ぶ平山郁夫氏の絵画作品が展示されています。

## 【記念講演会①】の紹介

9月7日（日）に、花巻市博物館の前館長 高橋信雄氏による、特別展を記念した講演会が行われました。テーマは「平山郁夫と文明の十字路バーミアン」です。

花巻市博物館 前館長  
高橋信雄氏



講演は平山郁夫氏とシルクロードとの関わりから始まり、西（ギリシャなど）の文化と東の文化が交錯する地点が、バーミアンやガンダーラなどであり、そこで独自の仏教文化が構築されたこと等、シルクロードの多岐にわたる内容が話され、多くの参加者が高橋氏の講演に聞き入りました。

裏面へ続く

## お知らせ

記念講演会②は、10/4土に、佐川美術館学芸員の藤井康憲氏による「平和を祈り描き続けた画家・平山郁夫—その画業と生涯」というテーマで行われます。講演会の様子は次号で紹介します。

成島和紙ランプシェードがお出迎えします。



「夕暮れライトアップ」  
(平山郁夫展期間中実施)

ワークショップ

## WSのお知らせ

年内に花巻市博物館で行われるワークショップは、次の3回です。

●鍛冶丁焼づくり（定員に達しました）

10月19日（日） 13:30～

●台焼づくり ※材料費 1500 円

11月 9日（日） 13:30～

●成島和紙ランプシェードづくり

※材料費 1000 円 + LED ランプ代 150 円

11月23日（日） 13:30～

博物館  
で行う

## 中学生職場体験の紹介

9月2～3日に南城中学校の生徒2名が当館で職場体験を行いました。初日は学芸員に関わる作業を中心に、2日目は管理関係の作業を中心に体験してもらいました。

学芸員に関わる業務は平山郁夫展に向けた「成島和紙ランプシェード」設置作業などを、管理業務はSNSへのアップ作業や受付などをそれぞれ実施しました。真面目で前向きな取



資料保管箱の作成作業

り組み方は大人顔負けで、管理業務の際には、心のこもった対応が来館者に伝わり、来館者が笑顔になっていました。

退館する時には、「博物館は思っていたのと全く違って、インスタをしたり細かいものを作ったりしていて印象が変わった。」「博物館は初めて入ったが、思っていたよりも楽しかった。また来たいと思った。」と話していました。



SNSの取材(童話村)

## 「多田等観」出前授業の紹介

多田等観は秋田県生まれの世界的なチベット仏教学者です。湯口との関わりが深い人物なので、湯口小学校では毎年6年生が「郷土に関わる先人」として学習しています。今回は9月9日に、6年生34人を対象として出前授業を実施しました。

スライドを使って等観の事績の解説を行った後に、等観に関わる資料——湯口に滞在していたときに使用していたお膳などの道具一式と、世界のチベット学者の教科書ともいえる「西藏大蔵經総目録」など——を観察してもらいました。

最後は数人から感想が発表されて終了しました。集中して聞きメモを取り、疑問点を質問していて、立派な学習態度でした。



等観の事績のスライド解説

### 湯口小の代表児童の感想（一部）

- ・等観が裸足で歩いていた（※）ことは知っていたけど、ドラマとの関係がこんなに深かったことがくわしく分かったので良かった。

### ※等観が「裸足で歩いていた」ことについて

当時、インドとチベット国境の厳しい取り締まりを通過してヒマラヤ山脈を越えるためには、現地のブータン人に変装する必要があると等観は考えました。

怪しまれないように裸足で歩かざるを得なかった等観は、靴を捨て、裸足で1か月かけてヒマラヤ山脈を越えたそうです。

### 6年生の先生方へ

社会科（歴史）の教科書では、昭和の戦争を扱う時期が近づいてくるころだと思います。

南城小学校では、「導入」で花巻空襲の出前授業を実施して意欲化を図り、その後に教科書で戦争を詳細に扱うという流れにするとのことでした。

他校でも「戦争と花巻」の出前授業についてご検討をお願いします。